

令和4年度 第1回
千葉県認知症対応型サービス事業
管理者等研修会

主 催：千葉県
業務受託：一般社団法人ちば地域密着ケア協議会

【超重要：欠席・辞退の連絡】

- ◆諸事情により、研修を「欠席」「辞退」される方は、必ず千葉県健康福祉指導課へ連絡をいれてください。
※必要に応じて、推薦自治体への連絡もお願いします。
- ◆千葉県への連絡の後、事務局へも連絡をお願いします。

研修初日目と毎朝の出欠確認、準備物

【研修初日目】(免除なし 6月9日 7:45～／免除あり 6月28日 12:15～)

- ・事前に提出してある書類をZOOMのカメラと電話のやり取りで確認します。
- ・ZOOMで顔を確認。電話で個人情報を確認します。

※可能な限り早めに入室をお願いします。また、登録の電話番号へ電話しますので、必ず身近においでください。

【研修2日目以降(毎朝)】

- ・ZOOMのカメラとZOOMの表示(番号-苗字)で確認します。

【研修受講にあたって準備物】

- ・研修資料(印刷したもの)
- ・筆記用具
- ・A4コピー用紙 (1日10枚程度:ワーク使用)
- ・事務局へ報告した電話番号の「携帯電話・スマートフォン」
- ・受講決定通知を送付した際の書類一式

研修中の約束事

- ①研修中は、「ビデオ」をオンにする。
- ②研修中は、講師の指示がない限り、「ミュート」(マイクオフ)にする。
- ③研修中、可能な範囲で、マスクは外す。
- ④講師から質問されたり、同意を求めらえたら、「ミュート」を解除して返答するか、リアクション機能で、手を挙げる等の操作をする。
- ⑤研修の録音・録画は禁止。
- ⑥事前に事務局宛通知してある携帯電話・スマホを身近に置くこと。
- ⑦研修中に、事務局へ相談のある方は、チャットで相談ください。
- ⑧研修中は、画面の表示を「番号-苗字」になるようにしてください。
- ⑨研修の受講は、パソコンを使用し、可能な限り有線接続をお願いします。無線の場合、画面とまったり、音声途切れたりします。
- ⑩研修は、マイク付きイヤホン(ヘッドホン)をご使用ください

緊急時の対応

- ①万が一、オンライン接続が途切れた場合は、再度ZOOMに接続、入室をお願いします。
- ②音声が入らない状態が続く場合も、一度退出して、再度入室をお願いします。
- ③どうにもならない場合は、事務局宛ご連絡ください。
043-244-2601 又は 080-4445-6889
※外部からの着信で話し中の場合、つながらないこともあります。

(レポート提出) → chiba.cand7@gmail.com
- ④未接続、退出状態が続く場合、欠席扱いとなります。

修了証に関して

- ◆研修の全カリキュラムを完全に受講した方に修了証書が発行されます。
- ◆受講の確認事項は3点です。
 - ①出席確認(遅刻・早退・欠席の有無)
 - ②内容の理解(講義レポートの提出、所定提出物)
 - ③受講の態度(居眠り、積極的な参加、所定提出物)
- ◆修了証は、研修の全日程終了後、事業所へ送付されます。
(※到着は、1～2週間程度かかります)
- ◆全日程参加の方は、「実践者研修」と「管理者研修」の修了証が発行されます
後半日程(一部免除)のみ参加の方は、「管理者研修」の修了証のみ発行されます。

レポートについて

レポート様式は、ダウンロードサイト又は、メール等でお示しします。

また、レポートの提出は、研修受講日の翌日の朝9時までに、メール又はFAXにて提出をお願いします。
(パソコンで入力でも、手書きでもどちらでも構いません)

なお、FAX提出の方は、後日原本を郵送で事務局に提出いただきますので、原本は大事に保管ください。

研修講師プロフィール

岩尾 貢 (いわお みつぐ) / 社会福祉法人共友会 理事長

昭和47年 加賀神経サナトリウム医療相談室 勤務
平成元年 介護老人保健施設 加賀のぞみ園 勤務
平成13年 介護老人福祉施設 サンライフたきの里
平成18年 龍谷大学 社会学部 地域福祉学科 教授
平成21年 龍谷大学 社会学部 地域福祉学科 教授 辞任

現在

社会福祉法人共友会 就労継続支援事業所(A型)「矢田野ファクトリー」
認知症対応型共同生活介護事業所「グループホームやたの」
小規模多機能型居宅介護「はしたて」「きんめい」 理事長
日本認知症グループホーム協会石川県支部 支部長
石川県精神保健福祉会 顧問
石川県福祉サービス第三者評価推進委員会 委員
石川県津畑町 政策アドバイザー

宮崎 淳子 (みやざき じゅんこ) / 社会福祉法人 生活クラブ
我孫子市我孫子北地区高齢者なんでも相談室

千葉市社会福祉事業団で、障害分野と高齢者分野で相談員として勤務。退職後現在の法人が運営する居宅介護支援事業所に管理者として勤務する。法人母体が医療機関であることで、近所の方から住宅の活用を働きかけられ、現在の小規模多機能ひなたほこの開設に携わる。千葉市の地域包括支援センターを受託。管理者として勤務。生業の他に、成年後見人活動や介護給付等の認定審査会委員・講師活動を行っている。講義は、認知症介護職向けの法定研修や小規模多機能の計画作成担当者研修・介護支援専門員実務研修・高齢者の権利擁護等資格：社会福祉士、介護支援専門員、主任介護支援専門員（認知症介護指導者・介護支援専門員指導者）

児島 和子 (こじま かずこ) / 公益社団法人 認知症の人と家族の会
千葉県支部・副代表

1995年 同居の義母が亡くなり、脳血管性認知症の義父の介護が始まる。
1998年 呆け老人をかかえる家族の会千葉県支部（現認知症の人と家族の会）に入会。
2004年 認知症の人と家族の会千葉県支部の世話人となる。義父を看取る。
2012年 認知症の人と家族の会千葉県支部の副代表となる。
現在 認知症サポーター養成講座（キャラバンメイト）講師
船橋市介護相談員
船橋市地域密着型サービス指定事業所等選定委員会
船橋介護保険事業運営協会委員
船橋市介護保険施設選定委員会
船橋市高齢者虐待防止等ネットワーク担当者会議構成員
船橋市地域密着型サービス運営委員会
船橋市地域包括支援センター運営協議会委員
船橋市三山・田喜野井地区ケア会議構成員
柏市認知症にやさしいまちづくり会議委員
柏市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員

内川 薫 (うちかわ かおる) / 社会福祉法人さつき会
特別養護老人ホームつつじ苑 課長

昭和48年生まれ。
平成16年 特別養護老人ホーム・ケアポート板橋勤務
平成20年 介護福祉士取得
平成21年 特別養護老人ホーム・つつじ苑勤務
平成25年 認知症介護指導者研修修了
平成26年度より主に実践者研修の「環境支援」の単元を担当。
30歳を機に福祉の仕事を始めましたが、それまでは小瀬の山小屋で働いていた。

田邊 恒一（たなべ こういち）／有限会社ウェルフェア 代表

介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士、千葉県認知症介護指導者。
習志野市内にて「グループホーム秋津」、「グループホーム谷津苑」（認知症対応型共同生活介護）、「デイサービスセンター秋津」（認知症対応型通所介護）、「ケアプラン秋津」（居宅介護支援事業）、「保育ルームロゼッタ」（保育施設）を運営。
平成26年より「袖団カフェ」（認知症カフェ）を近隣団地集会所にて定期開催中。

筒井 慈子（つつい ちかこ）／社会福祉法人 秋桜会 介護事業代表・認知症コーディネーター

印西市にある同法人グループホームのケアワーカー、管理者を経て、平成20年9月小規模多機能型居宅介護の開設に伴い異動。グループホームでの看取り、若年性認知症のケアなど、多様な人々の支援を重ね、認知症ケアと向き合う。市内に一つしかない小規模多機能型居宅介護で重要な一翼を担いながら、「地域でその人らしく最期まで」を理念に日々実践中である。
千葉県認知症介護指導者。千葉県認知症コーディネーター。主任介護支援専門員。

広野 義明（ひろの よしあき）／有限会社ウェルフェア 部長

2008年 グループホーム 管理者
2009年 認知症介護指導者
2015年 居宅介護支援事業所管理者

後藤 裕基（ごとう ひろき）／医療法人明輝会 統括管理部長

1972年生まれ。特養の介護、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所を経て、平成14年から現法人。老健、通所リハ、訪問リハ、GH、小規模、認知症デイ、高齢者賃貸住宅を運営、統括責任者。
鹿児島市介護計画作成担当者研修指導者、市地域密着型サービス連合会代表、市小規模多機能ホーム連絡会代表、日本認知症グループホーム協会鹿児島支部副支部長。

上野 卓爾（うえの たくじ）／上野社会保険労務士事務所 所長

1982年4月上記事務所を開業し、現在に至る。
千葉・東京において介護事業所を含む企業で労務指導の実績を有する。